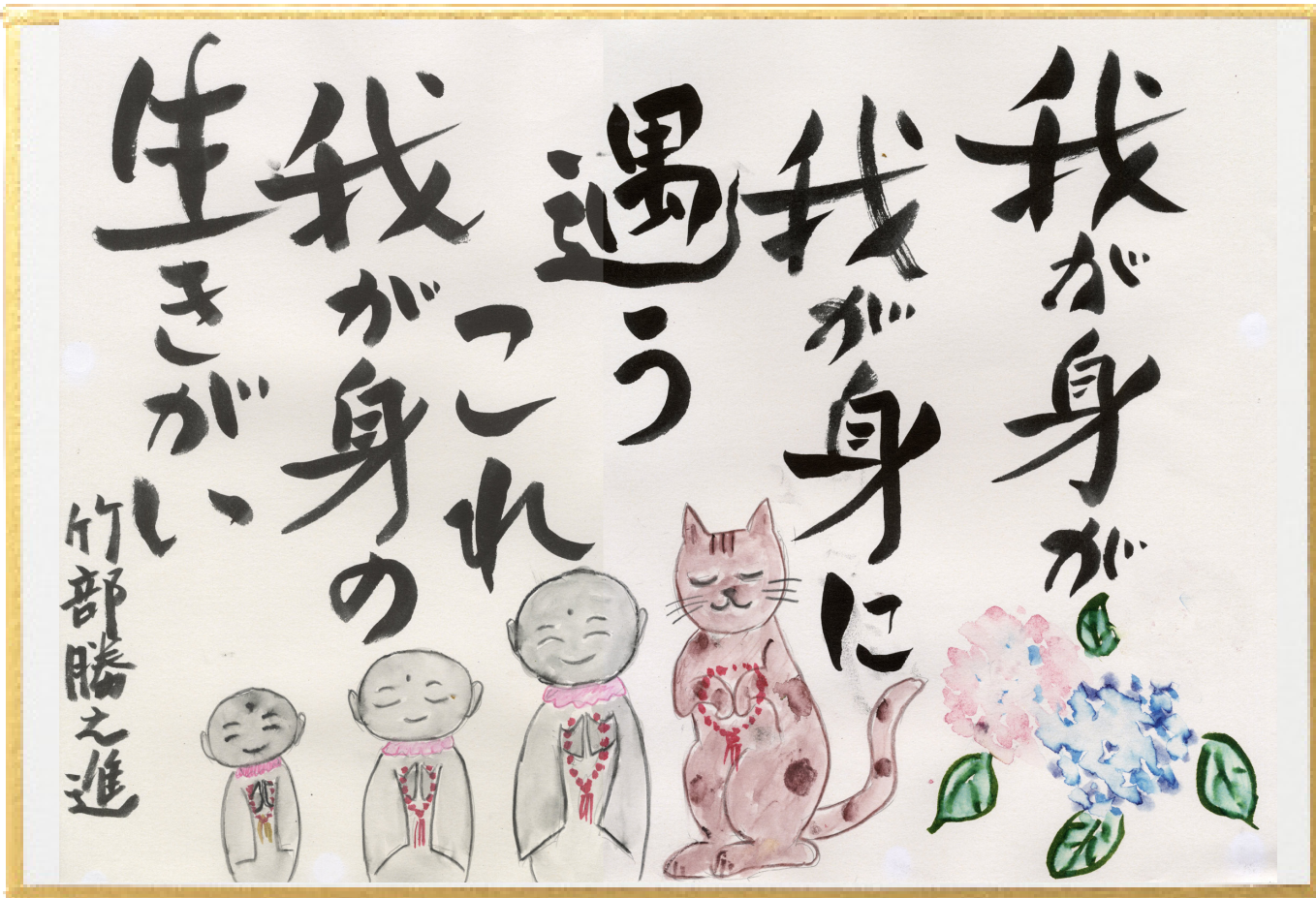




今こそ、出遇わねばならぬ人

武宮 信勝

悲しいことに毎日、ロシアのウクライナ侵攻報道が絶たぬ。悲惨な状況が早く中止され、停戦の上、両国の話し合いが実現して欲しいと願うばかり。つい最近、ロシアの文豪トルストイが日露戦争の開始間もない1904年6月の英紙に「戦争が始まった。海で陸で野獣のように殺し合う。安全な場所にいる者が他人をそのかして戦わせる」という新聞記事が目にとまった。今を生きている私たちは、過数の大戦が引き起こした人間の苦しみ、悲しみを忘れてはならないし、風化させてもならない。平和への願いはど底の体験があればあるほど望み続けられる。ウクライナから避難された方々から、戦地に留まっている家族、戦っている夫の安否を気遣う報道が流されてくる。しかしロシアからその声が独裁者によって圧殺されているのか、少しも聞こえてこない。

表紙には、念仏者「竹部勝之進」の言葉が紹介されている。自分の事は他の誰よりも一番わかっているつもりでいたが、実は何もわかっていないのは自分であった。そのことに領かされたのは仏法に出遇って初めて知らされた。仏法によって、我が身の本質・本性に目覚めたことを歓ばれた言葉でありましょう。今、独裁者と呼ばれている人も、また叫んでいる人も、いや自分を含めて全てのの人に、我が身の真の姿に出遇って欲しいと願っておられる方がおられる。そのお方こそ阿弥陀如来さまです。

法要・行事予定

6月		
2日	院議会	(15時)
5日	同朋の会	(13時30分)
12日	闍如上人御遠夜・常永代経	(14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中	(8時)
18日	存如上人御祥月御命日	(8時)
	天満別院合唱団「みのり」	(14時)
24日	夏の御文法要	(13時30分)
	竹中 慈祥師 (長浜教区 真廣寺)	
	「不安を生きる」	
	門徒総会	(16時)
27日	宗祖聖人御遠夜	(14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中	(8時)
	法話：輪番 武宮 信勝	

※ 諸行事につきましては、感染状況をみて判断致します。

7月		
11日	從如上人御祥月御命日	(8時)
12日	闍如上人御遠夜・常永代経	(14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中	(8時)
16日	天満別院合唱団「みのり」	(14時)
25日	宣如上人御祥月御命日	(8時)
27日	定例法話	(13時30分)
	洲崎 善範師 (第13組 即念寺)	
	宗祖聖人御遠夜	
28日	宗祖聖人御命日 兼日中	(8時)
	法話：輪番 武宮 信勝	



告知

6月 同朋の会

6月の同朋の会は左記の通り開催致します。今回は「繁昌亭」へ落語を聞きに行きます。参加を希望される方は、6月4日(土)までに別院へご連絡ください。

記

日時 6月5日(日)

13時30分～16時30分

集合場所 天満別院本堂

参加費 千円

今月の伝道掲示板

善悪の字しりがおは
おおそらごとの
かたちなり

親鸞聖人 ―『正像末和讃』―

編集後記

立夏からすでに一ヶ月たち、梅雨となりました。別院の紫陽花も美しく咲いております。

梅雨の雨量が少ないと洪水の心配になり、逆に多いと洪水のことがあり、多すぎても少なすぎても・・・という難しいところですよ。

雨により気温や湿度の変化があります。どうぞ皆様体調にはくれぐれもお気をつけくださいませ。

(K)

本山（東本願寺）御用達

(株) 平安法衣店

〒600-8153
京都市下京区東町本願寺大門前
電話 (075)-351-3681
FAX (075)-351-5563

おかげさまで創業120余年
あなたの街の石やさん

株式会社 太田石材店

～仏事その他何なりとお気軽にご相談ください～

フリーダイヤル 0120-305-075

本社
〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目23番20号
TEL 06-6930-5075 FAX 06-6930-5078

夏の御文

ゲノオフミ

法要

日時

6月24日(金)

午後1時30分

～3時30分

講題

「不安を生きる」

ご講師

竹中慈祥師(真廣寺)

ご講師からのメッセージ

コロナウィルス感染症が少しずつ収束しているかに思えるなか、さらなる聞きなれない感染症の名前が報道されています。そして国際情勢はますます不安定さを増しており、遠い国の出来事では済まされなくなってきました。この時代にあっというまに不安を感じずにおられない私たちですが、さて先輩たちはどのように不安を受けとめていったのでしょうか。仏教にはその考え方のヒントがあります。考えることで私たちは不安の中を生きていくことができるようになるのです。

一緒に考えてみませんか。

Q&A

法事は祥月にすべきですか？



答え

法事は一周忌、三回忌などにお勤めをする年忌法要のこと、祥月とは故人がお亡くなりになった同じ月日のことであり正式には祥月命日と言います。一般的に命日と言ったりもします。

本来の年忌法要は祥月命日に執り行うものでしょうが現状はそれよりも前にされる場合が大半です。それはご家族やご親族に様々な都合があるからです。あるご門徒さんが「うっかり祥月命日が過ぎてしまったので今回の年忌法要はやめようと思います」とおっしゃったこともありましたが、では、なぜ祥月命日の後よりも

前なのででしょうか？そこが一番の問題点でしょう。法事は遅いよりも早い、早いよりも当日が良いに決まっていますと考えていることや、自分や家族に悪いことが起きないで良いことが起こるように先祖に見守ってほしいと思っていることなど、先祖や法事に対する考え方が間違っているのです。そもそも物事に良い悪いがあると思っているのは錯覚であると説かれるのが仏法です。

お身内の仏さまはみな諸仏といひ、今生きている私たちに對して「阿弥陀仏にたすけてもらいなさい」と呼びかけてくださっているのです。それに応えて阿弥陀様に向き合い、教えを聴き、自分を知り、阿弥陀仏におまかせするしかないと再確認することが法事を勤める意味なのです。

このような理由で、法事はいつするかとなると、出席者の都合を考えて適当な日に決める、でよろしいかと思えます。

(第7組 本照寺 沖野頼唯)

報告

花まつり開催！

約15年ぶりの復活！

去る4月29日(金)花まつりが開催されました。当日はあいにくの大雨となり参加しづらい状況となりました。参詣に来られた方は花まつりと「縁遊くえんじよい」の皆さまによる野菜マルシェを満喫されていました。



花御堂に甘茶を掛ける様子

今後、天満別院の行事の一つとしていつか子供たちの声が響くような花まつりを目指して行きたいと思っております。

天満別院合唱団「みのり」練習再開

去る5月21日(土)天満別院合唱団「みのり」の練習が開催されました。2020年3月以来の「みのり」の練習となり、万全な感染対策をしながら参加された方々は、久しぶりの再開となり和気あいあい楽しんでおられました。別院では10月の報恩講で合唱団と法要を組み合わせる音楽法要を考えています。ぜひ皆さんと一緒に良い法要を目指していきたいと思いますので関心のある方はぜひご参加ください。



みのりの練習風景